

第3回ワークショップ結果概要

深沢区域

日 時：平成30年11月13日（火） 19時～21時

会 場：深沢会館

参加者：13人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第2回ワークショップまでのふりかえり
 - ・第1回ワークショップで出たご意見
 - ・第2回ワークショップで出たご意見(参考) 各区域における第2回までの検討結果概要
4. グループワーク
 - (1) この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
 - (2) それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？
5. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第2回ワークショップまでにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

第2回ワークショップまでの議論を踏まえて事務局が設定した「この地区の交通サービスの方向性（素案）」に関して、参加者の考えとのずれがないかどうかを確認頂いたところ、サービスの目的、主な利用者の想定についてそれぞれ修正意見を頂いた。

■グループワークの結果2：それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

「グループワーク1」の結果も踏まえ、それぞれの交通サービスに関するサービス内容や、メリット、デメリットを参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、本日のグループワーク結果を参加者にご確認頂いた。

【グループワーク1】この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

①この地区のサービスの目的

【素案】
 鉄道駅や病院、買物に行く交通を確保する。

【頂いたご意見】

- ・金融機関や市役所も外せない。

②主な利用者の想定

【素案】

- ・自分で車を運転できない方*
- ・免許返納をした方

※なお、この「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含むととらえている。

【頂いたご意見】

- ・来訪者、家族が車を使用し、自分が使える車がない住民も含める。

③導入を検討したい交通サービス

【素案】

分類	サービス内容	備考
1) 必要な時に利用できるドア to ドアの交通	・自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。	(具体的なサービス内容は、要検討)
2) タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	・タクシー券の配布。 (タクシーを活用。利用者の費用負担を減らす)
3) 必要な時に運行する定路線型の交通	・決まった路線で、必要な時に車両を運行する。	・必要な時に運行する小型のバス。 (外部からの来客にも対応できる)
4) 住民主体の交通	・住民の自主運行による交通手段を導入する。	・市から自治会へワンボックスカーを貸与など。 (具体的なサービス内容は、要検討)

【頂いたご意見】

- ・とくにありませんでした。

【グループワーク2】それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット(良い面と悪い面)がありますか？

①サービス内容に関するご意見

分類	サービス内容の提案等
1) 必要な時に利用できるドア to ドアの交通	<ul style="list-style-type: none"> ・住民相互の助け合い。 ・会員制 ・いわゆる「タクシー」。
2) タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> ・相乗りの仕組みがあるとよい。 ・誰を対象にするのか、支給基準の定義が前提 ・軽自動車のタクシーも考えられる。
3) 必要な時に運行する定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・盆堀地域で運行しているようなもの。 ・市が交通事業者へ運行を委託。 ・武蔵五日市駅まで、五日市線のダイヤに合わせて運行。 ・小型車(ワンボックスカー等)で、車いすの人も乗れると良い。 ・駅以外(例:病院)も経由して欲しい。
4) 住民主体の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーの確保が困難なので、イメージがわからないが、将来、自動運転技術が確立すれば、可能かもしれない。 ・お金のやり取りではなく、何かポイントが付くような仕組みにすると良いのではないか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設(秋川の東急ストア等)の送迎サービスがあると良い。 ・市内の公共交通空白地域を横断的に運行する(深沢地区と盆堀地区)交通も考えられる。

②交通サービス（候補）のメリット・デメリット

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) 必要な時に利用できるドア to ドアの交通	・自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。	・会員制にして会費を集めれば、予算も確保しやすい。	・ドライバーがおらず、確保が難しい。 ・高齢化が進むため、維持できないのではないか。 ・ドライバーのシフト等仕組みづくりが大変。 ・市の財政でドア to ドアの運行ができるのか？ ・目的地が人それぞれ違うので、均等なサービスができるのか？
2) タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	・安くタクシーが利用できる。 ・ドア to ドアである。 ・すでにタクシー会社があるので、実現しやすい。 ・（ドア to ドアより）現実的。 ・タクシーの利用が増えれば、この地域のタクシーの車両数が増え、より便利になるし、地域も活性化する。	・タクシーの空きがないと使えない。 ・予算に上限があり、無制限に使える訳ではなく、利用が増えればそれだけ費用が掛かる。 ・人によって条件（利用頻度、健康状態、経済力等）が違うため、全員一律に補助するのではなく支給基準（例：運転できない、免許返納者限定、回数上限、行先制限等）を設ける必要がある。 ・本当に使いたい人が使えるのか？
3) 必要な時に運行する定路線型の交通	・決まった路線で、必要な時に車両を運行する。	・分かりやすい。 ・あじさいシーズンの観光客等も使える。	・行ける範囲が限定される。 ・運行ダイヤ等を決めるのが大変。 ・利用者によって目的地が違う。 ・住民が運転するのは難しい。 ・利用者数は少ないと思われるため、現実性が低い。 ・それなりに経費が掛かる。
4) 住民主体の交通	・住民の自主運行による交通手段を導入する。	・自由が利く。 ・住民皆、顔見知りなので気楽に、安心して乗れる。	・若い人がいないので、ドライバーの確保が最大の課題。 ・発起人（リーダー的な人）がいないと始まらない。 ・事故があった場合の責任。

■ 第3回ワークショップの様子

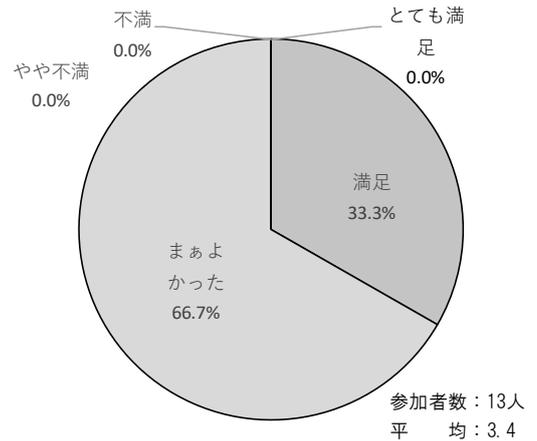


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・多数の意見をまとめるのは大変。

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・補助が人により異なるという考えが回らなかった。
- ・軽自動車のタクシーがあればいい。

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・少し先が見えて来たかな！
- ・皆さん親身に考えてくれた。
- ・テーブル毎にフリートーキングが出来た。

第3回ワークショップ結果概要

引田・代継・網代区域（網代）

日 時：平成30年11月23日（火） 19時～21時

会 場：網代会館

参加者：13人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第2回ワークショップまでのふりかえり
 - ・第1回ワークショップで出たご意見
 - ・第2回ワークショップで出たご意見

（参考）各区域における第2回までの検討結果概要
4. グループワーク
 - （1）この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
 - （2）それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？
5. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第2回ワークショップまでにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

第2回ワークショップまでの議論を踏まえて事務局が設定した「この地区の交通サービスの方向性（素案）」に関して、参加者の考えとのずれがないかどうかを確認頂いたところ、サービスの目的、主な利用者の想定についてそれぞれ修正意見を頂いた。

■グループワークの結果2：それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

「グループワーク1」の結果も踏まえ、それぞれの交通サービスに関するサービス内容や、メリット、デメリットを参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、本日のグループワーク結果を参加者にご確認頂いた。

【グループワーク1】この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

①この地区のサービスの目的

【素案】

高低差や狭い道幅に配慮した交通を確保する。

【頂いたご意見】

- ・主な利用者の「足を確保すること」が目的ではないか。
- ・買い物、通院交通の確保。
- ・「小型車の」交通確保。

②主な利用者の想定

【素案】

- ・（将来的に）免許返納をした方
- ・自分で車を運転できない方*

※なお、この「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含むととらえている。

【頂いたご意見】

- ・家人が車を使っている、お酒を飲んだなど、運転出来るけれど「たまたま」車が使えない場合への対応。

③導入を検討したい交通サービス

【素案】

分類	サービス内容	備考
1) タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	・利用券の配布。
2) 住民主体の交通(近所同士の相乗り)	・住民の自主運行による交通手段を導入する。	・出来れば市から自治会へ車両を貸与。
3) 定路線型の交通(乗合タクシー)	・決まった路線を運行する。	・行政と地域で費用分担。 ・小型の車両での運行。
4) 自転車の共同利用	・地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。	・出来れば市から自治会へ電動アシスト付き自転車を貸与。
5) 大手スーパー等による送迎バスの運行	・大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。	

【頂いたご意見】

- ・「企業等送迎バスへの混乗¹」を追加。

¹当初は「幼稚園バス」でしたが、グループワークの結果、幼稚園バスへの混乗は難しい一方、ゴルフ場や霊園等の送迎バスへの混乗というご意見が出たため、表現を改めました。

【グループワーク2】それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット(良い面と悪い面)がありますか？

①サービス内容に関するご意見

分類	サービス内容の提案等
1) タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰に補助をするのか、支給基準の設定が前提となる。 ・ タクシー会社への登録制(利用者、行き先等)とし、それによって送迎料金を安くする。
2) 住民主体の交通(近所同士の相乗り)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転手への謝礼、ガソリン代等の規定が前提。 ・ 曜日を定めるなどの定期運行。 ・ 乗り場を決める。
3) 定路線型の交通(乗合タクシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買物時間帯に合わせたサービス。 ・ できれば午前、午後各2往復してほしい。 ・ 網代だけでなく高尾など広域をカバーすることで使い勝手を良くする。 ・ ハイエース等の小型車を導入する。 ・ 地区専用車という考え方もある。
4) 自転車の共同利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルフカートや電動スクーターも含める。
5) 大手スーパー等による送迎バスの運行	
6) 企業等送迎バスへの混乗	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルフ場、霊園バスへの混乗。

②交通サービス（候補）のメリット・デメリット

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	・ドア to ドアの交通が可能。 ・個人に対応しやすい。 ・経済的に助かる。 ・時間の融通や自由が利く。	・使いにくい時間（朝夕など）があるため、仕組みづくりが必要。
2) 住民主体の交通（近所同士の相乗り）	・住民の自主運行による交通手段を導入する。	・ドア to ドアの交通が可能。 ・目的地が同じ人同士であれば使いやすい。 ・コミュニケーションが生まれる。 ・仕組みを確立すればタクシーより使い易くなる可能性がある。 ・ドライバーが顔見知りであるがゆえに安全。	・利用時間や料金設定の調整が必要。 ・運転手の確保。 ・スケジュール調整（運転者、利用者、行き先）が大変。 ・利用したいときに使えない可能性がある。 ・費用負担が必要。 ・安全、事故対応をどうするか、誰が責任を負うのか（運転者の責任も大きい）。 ・乗り場が遠いと使えない。
3) 定路線型の交通（乗合タクシー）	・決まった路線を運行する。	・専門の運転手がいるのなら安心して乗れる。 ・仕組みを確立すれば利用者が増える可能性がある。	・利用できる時間が制約される。 ・遠回りになることがある。 ・家から乗り場が遠いと大変。 ・利用者がいないとサービスが無くなる不安があり、利用者確保する仕組みづくりが必要。
4) 自転車の共同利用	・地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。	・個人で利用しやすい。 ・使いたいときに使える。	・道路が狭く、下り坂などは怖い、危険。 ・電動だと車体が重く、転んだ時に大変。事故にもつながる。 ・このため高齢者には不向きであり、乗れる人が限定される。 ・坂を上る際や雨の日は大変。 ・自転車利用者はカーブミラーを見ないなど、車道走行時のルールを徹底する必要がある。 ・充電の管理が発生する。 ・使いたいときに使えないことがあり得る。
5) 大手スーパー等による送迎バスの運行	・大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。		・企業側との調整が必要だが、実現は難しいのではないか。 ・スーパー側の規定（例：2000円以上の買い物で利用可等）が必要。 ・事故の際の責任。
6) 企業等送迎バスへの混乗	・ゴルフ場、霊園バスへの混乗。	・ゴルフ場へ客を下ろした後の空車が活用できる。	・路線が決まっており、乗降場が限られる。 ・利用時間が限られる。 ・仕組みづくりが重要。

■第3回ワークショップの様子

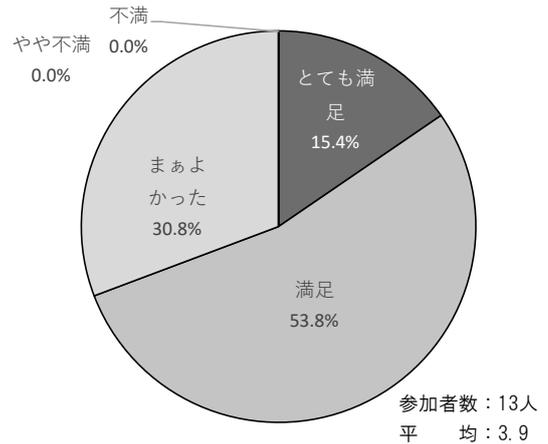


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・なかなか決定に至るには難しい。
- ・ゴルフ場のバスが網代の方も通ってくれたら良いですが、あまり人が乗っていない様なのもったいないと思います
- ・交通サービスのメリット面とデメリット面が分かりやすく、又、色々な意見がでたので良かったと思います
- ・自転車に乗ろうと思っていたのですが、色々聞いてあぶないと発見、乗るのを考えたい。
- ・何をやるにしても仕組み作りが大切
- ・だんだん実現できそうな感じになって来た
- ・前回までに話し合った内容が具体的になってきた。また問題点が見えてきた。

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・進行役が分かりやすく話をしてくれた事。
- ・進行役の人がとてもわかりやすかった。
- ・進行役の人が意見や発言に対して一切否定せず、受け入れ、うまくまとめていたことに好感を持った。
- ・新しく幼稚園バスの混乗についての意見があった。

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・交通サービスのメリット、デメリット分かりやすかった。
- ・3回目を迎え大分意見がまとまりましたが、実現する方向に向かうか心配。
- ・主な交通サービスを絞り込んでいくのが良かったと思います。これから色々検討して、よりよい交通手段ができればいいと思います。
- ・グループワークが良かった。
- ・今回は話し合いの視点が分かりやすかった。
- ・今後の課題としてメリット、デメリットを良く議論して、よりよい交通サービスを導入してもらいたい。
- ・資料が分かりやすく進められた。
- ・自由に話が出来た事、進行役の方がまとめて書いて下さった事。

第3回ワークショップ結果概要

引田・代継・網代区域（引田・澁上・代継）

日 時：平成30年11月23日（火） 14時～16時

会 場：楓ヶ原会館

参加者：9人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第2回ワークショップまでのふりかえり
 - ・第1回ワークショップで出たご意見
 - ・第2回ワークショップで出たご意見

（参考）各区域における第2回までの検討結果概要
4. グループワーク
 - （1）この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
 - （2）それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？
5. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第2回ワークショップまでにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

第2回ワークショップまでの議論を踏まえて事務局が設定した「この地区の交通サービスの方向性（素案）」に関して、参加者の考えとのずれがないかどうかを確認頂いたところ、サービスの目的、主な利用者の想定についてそれぞれ修正意見を頂いた。

■グループワークの結果2：それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

「グループワーク1」の結果も踏まえ、それぞれの交通サービスに関するサービス内容や、メリット、デメリットを参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、本日のグループワーク結果を参加者にご確認頂いた。

【グループワーク1】この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

①この地区のサービスの目的

【素案】
 鉄道駅や病院、買物に行く、南北方向の交通を確保する。

【頂いたご意見】

- ・地域内においては「南北方向」が良いが、地域外においては市役所など東西方向にも配慮が必要。
- ・「南北方向」を強調、限定する必要はない。

②主な利用者の想定

【素案】

- ・高齢者
- ・自分で車を運転できない方*

※なお、この「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含むととらえている。

【頂いたご意見】

- ・お子さん、女子中高生などの安全性など、対象者を幅広く捉える。

③導入を検討したい交通サービス

【素案】

分類	サービス内容	備考
1) 南北方向の交通	・地区と駅を結ぶシャトル便を運行する。	・駅まで行く交通（特に朝夕のアクセス）。 （具体的なサービス内容は、要検討）
	・地区と駅、病院、スーパー（イオンなど）などを巡る車両を運行する。	
	・段丘の定点間を結ぶ車両を運行する。	
2) ドア to ドアの交通	・自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。	
3) 定路線型の交通	・決まった路線と決まったダイヤで小型の車両を運行。	・10人以下の車両の場合は、一般的に乗合タクシーといわれる。

【頂いたご意見】

- ・「南北方向の交通」については、雨の日などにも対応できるようにして欲しい。

【グループワーク2】それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット(良い面と悪い面)がありますか？

①サービス内容に関するご意見

分類	サービス内容の提案等	備考
1) 南北方向の交通	<ul style="list-style-type: none"> ○地区別の運行 ・地区別に分けて運行する仕組みづくり。 ・地区～駅直行以外に経由地を入れる。 ・朝の通勤、昼の買物、夕方の帰宅に合わせる。 ・東西方向へも運行する。 	
2) ドア to ドアの交通	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーへの補助。 ・タクシーより安いもの。 ・地域でまとめて払う仕組み。 ・ドア to ドアの交通は究極のサービスである。 ・コストダウンや規制をクリアする工夫ができないか(ボランティア輸送サービス、住民の相乗りサービスなどで、かつ白タクとならないようにする)。 	
3) 定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・長大路線は利用しづらいので、駅を基点とするU字型の路線を2つ位(短区間の組み合わせで、乗継ができるバスルートで、駅近くは急行運行とする)つくる。 ・ワンボックスカーをイメージしたもの。 ・中高生の塾や部活にあわせて夜遅くまで運行。 ・地域別に路線を設定すると良い。 ・1コイン程度だと良い。 ・駅、スーパー、病院まで行くものを定路線化し、たまに市役所まで行くようにする。 ・バス停間隔を詰めたり、自由乗降をできるようにしたりすることで、ドア to ドアの交通に近づける。 	<p>相互のデメリットを解消し、メリットを活かせるものにする</p>

②交通サービス（候補）のメリット・デメリット

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) 南北方向の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区と駅を結ぶシャトル便を運行する。 ・ 地区と駅、病院、スーパー（イオンなど）などを巡る車両を運行する。 ・ 段丘の定点間を結ぶ車両を運行する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行間隔が課題。
2) ドア to ドアの交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りに記載を使わず使い易い。 ・ どこへでも行ける。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> これらを解決する工夫が必要 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー補助については、その基準をどのようにするのか。 ・ 費用がかかる。
3) 定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決まった路線と決まったダイヤで小型の車両を運行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外出の見通しが立てやすい。 ・ 外出しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今のバスのような一筆書きの路線は利用しづらく時間の自由度が少ない。 ・ 運行時間を延ばせばそれだけ費用がかかる。 ・ 中高生が定期利用すると、保護者負担が増える。 ・ スーパー、病院の空く時間に合わせたダイヤ設定。
○公共交通全体		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で車を持たずに済むのでコスト減になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用対効果をよく考える必要がある。

■ 第3回ワークショップの様子

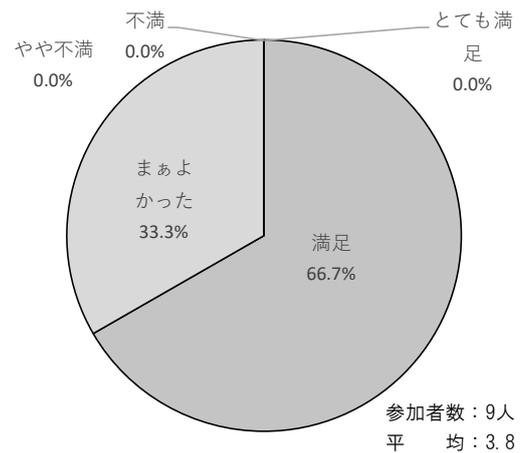


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・今は自分で車を運転して移動しているが、それが出来なくなったときに、どうしたらいいのか、色々考えられた。
- ・公共交通をもっとよくしたいと思っても、どうしたらいいか分からなかったが、皆で考えたので、Uの字型の運行や短区間運行など、良い意見が出てまとまった。
- ・今のバスが使いにくいシステムであるらしいこと。
- ・早く実現しないと交通難民が現実的になりそう。
- ・必要のように考えを進言すると費用がどんどんふくらみ、非常にむずかしいなと感じた。
- ・視点の違いを気づいた・・・あたり前か。
- ・地域における交通網の確立は、こんなに多くの課題を抱えていることに気がつき、我ながら困難さを改めて知った。

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・Uの字運行とかバス停を短区間に目的地に近く等皆の考えがきちんとまとめられたのは良かった。急行（とばす）意見がよかった。みな自分のわがままでなく公共のことを考えているのはすばらしい！！
- ・ドア to ドアが究極の姿。
- ・ボランティアを活用（町内会、長寿会等を活用）して費用を少なく効果を大にする。
- ・費用を気にしているため、悩んでいると思えた。

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・まとめをファシリテータがしてくれたこと。
- ・まとめ発表を参加者でやるとなると、不慣れなこともあり、自由に意見を出す方に気がまわらなくなるので、本日のようなやり方がよい。
- ・皆の意見、デメリットも進行的な考え方やボランティアなどさまざまな考え方が出せるのは良かったが、果たして実現できるのでしょうか？考えを出すだけで終わりそうに思う。不安！！
- ・皆さんのそれぞれの意見を聞いた。

第3回ワークショップ結果概要

草花折立下区域

日 時：平成30年11月4日（日） 14時～16時

会 場：折立会館

参加者：24人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第2回ワークショップまでのふりかえり
 - ・第1回ワークショップで出たご意見
 - ・第2回ワークショップで出たご意見(参考) 各区域における第2回までの検討結果概要
4. グループワーク
 - (1) この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
 - (2) それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？
5. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第2回ワークショップまでにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

第2回ワークショップまでの議論を踏まえて事務局が設定した「この地区の交通サービスの方向性（素案）」に関して、参加者の考えとのずれがないかどうかを確認頂いたところ、サービスの目的、導入を検討したい交通サービスについてそれぞれ修正意見を頂いた。

■グループワークの結果2：それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

「グループワーク1」の結果も踏まえ、それぞれの交通サービスに関するサービス内容や、メリット、デメリットを参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有したが、時間の都合上からワークショップ時間内に全体まとめをすることが出来なかったため、後日、とりまとめ結果をワークショップ参加者全員に郵送した（当日欠席者を含む）。

【グループワーク1】この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

①この地区のサービスの目的

【素案】
草花団地（急坂下 改め）にも配慮して、
鉄道駅や病院への足を確保する

【頂いたご意見】

- ・「草花団地にも配慮して」は必須ではなく、配慮の結果当地区の公共交通整備が遅れないようにして欲しい
- ・買物目的も考慮して欲しい

②主な利用者の想定

【素案】
・免許返納後の高齢の方
・自分で車を運転できない方など

【頂いたご意見】

- ・特にありませんでした

③導入を検討したい交通サービス

【素案】

分類	サービス内容	
1) 定期路線運行型交通の導入	・決まった路線と決まったダイヤで、車両を運行する。	1)-1 従来の「 <u>るのバス</u> 」を走らせる。 1)-2 <u>小型の車両</u> を走らせる。（草花区域の急坂下までも通すため）
2) <u>タクシー代の補助</u>	・タクシー代を補助する。	
3) <u>ドア to ドアの交通</u>	・自宅の近くから目的地まで行けるように、車両を運行する。	3)-1 <u>タクシーの相乗り</u> （目的地が同じ人で同乗） 3)-2 <u>自家用車の相乗り</u> （目的地が同じ人で同乗）
4) <u>路線バスの利便性向上</u>	・今ある路線バスを、使いやすくする。	①西東京バス福 23 系統を草花区域に迂回させる。 ②永田橋付近の <u>バス停</u> を移動させる。
5) 住民主体の交通手段	・住民の自主運行による交通手段を導入する。	・決まった路線と決まったダイヤで運行。
6) 自転車の共同利用	・地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。	①最寄りのバス停までの移動に利用 ②駅や病院等への移動にも利用

【頂いたご意見】

- ・「7)企業等との連携」を追加して欲しい

※その他サービス内容に関する具体的なご意見をいくつかいただきましたが、それらについてはメリット・デメリットの比較表に入れさせていただきました。

【グループワーク2】それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット(良い面と悪い面)がありますか？

①交通サービス(候補)のメリット・デメリット

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1)定期路線運行型交通の導入	1)-1 従来の「るのバス」を走らせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在運行しているから実現しやすいのではないか。 ・公共施設や病院を経由している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今のるのバスは利用者が少なく誰も乗っていない。非効率。 ・新規の取組なので経費がかかる。 ・台数が少ない(1台しかない) ・導入までに時間がかかりそうだ。 ・道路整備から必要なので現実的ではない。 ・「検討に時間がかかる」「導入の費用がかかる」と言うが、交通は住民にとって早急に解決してほしい問題である。
	1)-2 小型の車両を走らせる。(草花区域の急坂下までも通すため)		<ul style="list-style-type: none"> ・小型のバスの購入費用がかかる。 ・新規の取組なので経費がかかる。 ・草花団地の道は、普通車同士のすれ違いも難しいため、軽自動車でないといけないのではないか。
2)タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	<ul style="list-style-type: none"> ・予算が確保できればすぐに実行できる。 ・るのバスより現実的(だと思う)。 ・当面進めやすそうだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の取組なので経費がかかる。 ・制度の確立が必要(受益者負担は当然だと考える) ・るのバスを増便できないのに、市の予算でタクシー代の補助ができるのか？ ・どんな利用目的(例:知人の家に遊びに行く)でもタクシー代を補助してくれるのか？
3)ドア to ドアの交通	3)-1 タクシーの相乗り(目的地が同じ人で同乗)		<ul style="list-style-type: none"> ・現実的に無理。タクシー代の補助の方が現実的 ・考え方は理解できるが、相乗りをする具体的な方法など実現性に疑問を持っている。 ・同じ目的地の人を確認するのが難しい。
	3)-2 自家用車の相乗り(目的地が同じ人で同乗)	<ul style="list-style-type: none"> ・制度として確立できれば、好ましい方法。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生した時の処理や補償問題をどう解決するか。 ・ドライバーに負担がかかる。 ・相乗りする人を見つけるのが大変 ・たとえ運転のプロでも、心疾患や脳疾患などで運転中に倒れる可能性がある。

分類	サービス内容	メリット	デメリット
4)路線バスの利便性向上	①西東京バス福23系統を草花区域に迂回させる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今のバスと違い、買物や通院目的で他の自治体へも乗り入れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスの経路変更は道路の問題もあり、非現実的 ・ 道幅の問題があり、大型車が進入できない。 ・ 路線バスは現在でも減便されており、とても現実的とは思えない。
	②永田橋付近のバス停を移動させる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階では、永田橋付近のバス停の移動にはメリットがある。 ・ 福生方向の花之岡バス停を橋の近くに移動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス停を移動すると遠くなってしまいう人もいる。
5)住民主体の交通手段		<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライバーの不足については上河原地区などとも連携すれば補えるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 盆堀方式は盆堀地区だからできること、折立は住民がまとまるか？地区の事情からみて導入は難しい。 ・ 事故があった場合など、最終的に誰が責任を取るのか。 ・ 運転手ボランティア（特に若い人は日中、働きに出ているため）がいない。
6)自転車の共同利用			<ul style="list-style-type: none"> ・ 考え方は良いが、実現するにはいろいろな課題の解決が必要 ・ 自転車の共同利用は都会では普及しているが、あきる野市で普及するとは思わない。 ・ (高齢者にとって)電動自転車は(重いため)怖くて乗れない。 ・ 通院等で利用した場合、長時間かかることも考えられるため、多くの人を利用するとなると、かなりの台数が必要になってしまうのではないか。 ・ 今後、高齢化が進むと、自転車に乗れなくなる人も多くなるのではないか。
7)企業等との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用がかからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ すぐに変更、中止される可能性がある。

②サービス内容に関するご意見

分類	サービス内容	サービス内容の提案等
1)定期路線運行型交通の導入	1)-1 従来の「るのバス」を走らせる。 1)-2 小型の車両を走らせる。(草花区域の急坂下まで通すため)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望をくみ取り、従来のるのバスの時間帯・便数・ルートを見直し ・公共施設などの拠点で乗り継ぎができれば市内各地へ行ける ・市内を網の目のように運行して欲しい ・草花の小林クリニックさんは独自のサービスとしてバスを運行しています。これを参考に！ ・当初の計画どおりに、るのバスを市内3台体制にして運行する ・3台体制が難しい場合は、ルート毎に日を決めて運行する ・るのバスを土日も走らせる ・るのバスを上河原地区にも走らせる ・るのバスを急坂の上、ゆる坂の上まで通して欲しい ・るのバスは他の自治体に乗り入れることはできるのか？ ・市全体での調整は市の姿勢の問題であり、デメリットではない <ul style="list-style-type: none"> ・草花団地経由は無理でも折立地区を走らせる ・小型のるのバスを走らせる。現行の草花コースを3分割して、それぞれ週1~2回。時間がかかっても良い。 ・デイサービスの車は、急坂下まで来るのに、なぜ「るのバス」は入れないのか？
2)タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	<ul style="list-style-type: none"> ・できるところから同時進行で進めて欲しい ・金額に配慮する
3)ドア to ドアの交通	3)-1 タクシーの相乗り(目的地が同じ人で同乗) 3)-2 自家用車の相乗り(目的地が同じ人で同乗)	
4)路線バスの利便性向上	①西東京バス福23系統を草花区域に迂回させる ②永田橋付近のバス停を移動させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「西東京バス福23系統を草花区域に迂回させる」は、「折立区域に迂回させる」と限定した表現の方が良い ・西東京バスを永田橋から都道29号へ通し、いなげや前、阿伎留医療センター、イオンまで通す。 ・一部を都道29号経路に変更(午前・午後2本程度)する ・永田橋には沢山の路線バスが通っているので、少しぐらいは迂回させられるのではないか。 ・西東京バスの他にもう1社、競合手を参入させ、運行を活発にする。 ・急行バスと緩行バスの併用した運行
5)住民主体の交通手段		<ul style="list-style-type: none"> ・盆堀地区の交通事業を参考にする ・運転ボランティアによるサービス提供
6)自転車の共同利用		<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪中の鍵の管理はどのようにするのか
7)企業等との連携		

■ 第3回ワークショップの様子

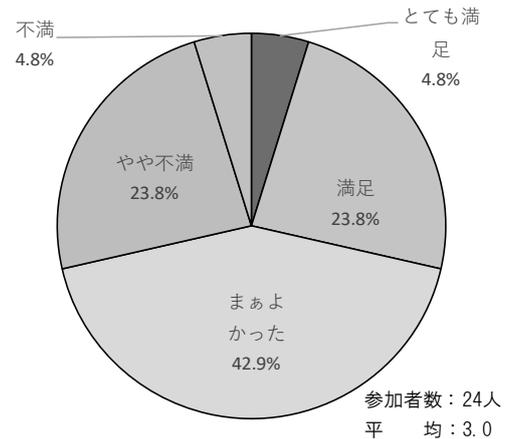


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・各自いろいろな意見があるなあ！
- ・まとめた目的等について前段で検討したが、具体的な話になって無駄？メリット・デメリットの方へ入り込んだ？
- ・論点がはっきりしなかったのでは？まとめ方が多少一方的なことが気になります
- ・本当に実現を目指しているか疑問
- ・分類について話の内容から公共交通という大きなテーマからもう少し分類を細分化した方がよいのではないか
- ・今すぐ実現できること、しやすいことから進めていくのは良いのでは。住民の意見を出すことによって市が動いてくれるのではないかと
- ・相乗りの相手を見つけるのはどうするのか、むずかしいのではないかと

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・進行に不手際あり、余計な時間がかかり、ワーク討議が良くできなかった
- ・司会者は説明しているのにほかの参加者の理解不足かな？
- ・短時間によくやっている

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・1、2回のワークショップのまとめは良く出来ていたと思う
- ・メリット、デメリットのまとめ方が多少一方的に偏っているのでは
- ・年よりは耳が悪く声も小さいので、お互いの意見が聞こえず発言がから回りしている
- ・分類が大まかすぎるので意見を集約することがむずかしい
- ・今日のワークショップ、1と2を一緒にした方がよかった
- ・出た結論に対する市の積極的対応、取組みが課題
- ・細かく整理して行うのは、結果的には何が一番大切なのかということに行きつくので良いと思った。時間がかかるけど。

第3回ワークショップ結果概要

東秋川橋西側区域

日 時：平成30年12月15日（土） 19時～21時

会 場：野辺地区会館

参加者：9人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第2回ワークショップまでのふりかえり
 - ・第1回ワークショップで出たご意見
 - ・第2回ワークショップで出たご意見(参考) 各区域における第2回までの検討結果概要
4. グループワーク
 - (1) この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
 - (2) それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？
5. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第2回ワークショップまでにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

第2回ワークショップまでの議論を踏まえて事務局が設定した「この地区の交通サービスの方向性（素案）」に関して、参加者の考えとのずれがないかどうかを確認頂いたところ、主な利用者の想定、導入を検討したい交通サービスについてそれぞれ修正意見を頂いた。

■グループワークの結果2：それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

「グループワーク1」の結果も踏まえ、それぞれの交通サービスに関するサービス内容や、メリット、デメリットを参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、本日のグループワーク結果を参加者にご確認頂いた。

【グループワーク1】この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

①この地区のサービスの目的

【素案】
狭い道幅に配慮して、病院や買物などに行く交通を確保する。

【頂いたご意見】

- ・特になし。

②主な利用者の想定

【素案】
 ・自分で車を運転できない方*
 ・(将来)免許返納をした方
 (・車いすを利用している方)
 ※なお、この「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含むととらえている。

【頂いたご意見】

- ・「自分で運転できない人」の中には、「乳幼児を連れてくる方」も含めて考えて欲しい。
- ・「自分で車を運転できない方」「(将来)免許返納をした方」という書き方は、漠然としすぎている。「自分で自家用車を運転できない方」など、表現を工夫すべき。
- ・「車いすを利用している方」を想定すると、小型車の運行は難しいのではないかと。
 →前回ワークショップでのご意見を踏まえて、車いすの方については()書きで入れましたが、このご意見及び③でのご意見も参考に、素案からは削除させていただきます。

③導入を検討したい交通サービス

【素案】

分類	サービス内容	備考
1) 地藏堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・地藏堂を拠点とし、ボランティア等による運転（相乗り）をする。 ・移動販売車を呼び、お茶飲み・将棋・困ったことの助け合いの場の提供など、複合的な地域コミュニティサービスを展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応できる運転ボランティアの登録。 ・有償／無償は別途検討。
2) タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー代を補助する。 ・緊急時にも利用可能なものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用券の配布。
3) 定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ワゴン車等の小型の車両で、決まった路線を運行する。 	
4) バス停への駐輪場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・バスを使いやすくするため、バス停の近くに駐輪場を設置する。 	

【頂いたご意見】

- ・「3)定路線型の交通」には、ワゴン車等だけでなく、電動カートを追加する。
- ・「5)ドア to ドアの交通」を追加する。
- ・「ボランティア等による運転（相乗り）」では、車いすへの対応をどうするのか。

【グループワーク2】それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット(良い面と悪い面)がありますか？

①サービス内容に関するご意見

分類	サービス内容の提案等
1) 地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日中は地域のボランティアが常駐して対応する。 ・ 地蔵堂での乗降だけでなく、送迎サービスを含めることで、ドア to ドアの交通も担う。 ・ 定期的にタクシーをつけてもらう。 <ul style="list-style-type: none"> -利用したい人同士で相乗り -帰りは個別にタクシー利用（補助してもらう）
2) タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他のサービスが整うことを前提として上限を決める必要がある。 ・ いくら補助してもらえるのかによって利便性が変わる
3) 定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電動カートの活用を考える。 ・ 4～5km 程度の走行距離とする。 ・ 地区内～睦橋通りのバス停～東秋留駅のような路線を想定する。 ・ 雨間のいなげややアルプスにも立ち寄る。 ・ 小型車でスタートし、需要を見て大型化も検討する。 ・ できれば病院もルートに含めたい。 ・ 電動カートよりはワゴン車等の方が良い
4) バス停への駐輪場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拝島方面のバス路線と連絡するようにする。 ・ 小型車の定路線型があれば不要。 ・ 地蔵堂を駐輪場所として活用する。
5) ドア to ドアの交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地蔵堂のサービスまたはタクシー補助があれば不要。 ・ タクシー。 ・ 移動が困難だが、「移送サービス」は利用できない方が利用できるもの。

②交通サービス（候補）のメリット・デメリット

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) 地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・地蔵堂を拠点とし、ボランティア等による運転（相乗り）をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車を使えば取り組みやすい。 ・空いている自家用車を提供してもらえれば、すぐにでも始められる。 ・自家用車を使えば、運転に慣れているし、自分の車なので運転にも気を遣う。 ・地蔵堂は自宅から近くて行きやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故が起きた時の責任をどうするか。 ・自家用車を使用する場合、保険関係はどのようにするのか。 ・自家用車を使う時の経費精算はどのようにするのか。 ・費用負担の考え方を決める必要がある。 ・管理等の問題もあり、実際には難しいのではないかと。 ・主になる人（リーダー）がいないといけない。 ・定期的にタクシーをつけてもらっても、利用者がいない場合が考えられる。 ・経費が掛かる。
2) タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー代を補助する。 ・緊急時にも利用可能なものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドア to ドアの交通として普通に利用できる。 ・自分の行きたいところに行ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上限その他を市に決めてもらう必要がある。 ・補助にも限度がある。 ・予算がつくのかどうか分からない ・この地区だけ補助するのか、他の地区も補助するのかを考える必要がある ・誰にどの程度補助するのかを考える必要がある ・年齢で基準設定した場合、同年代でも移動が困難方と元気な方がいる
3) 定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ワゴン車や電動カート等の小型の車両で、決まった路線を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最も自由に使える。 ・できるだけ小さい車を使う様になれば、仮に空車だとしても経済的デメリットが小さい。 ・運行頻度を高くすればさらに使い易くなる。 ・分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行本数が多くないと使いにくい ・行き先が限られる ・行きたいところに行けるか分からない ・目的地に行くまでに遠回りが発生する可能性がある ・電動カートは冷暖房がない
4) バス停への駐輪場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・バスを使いやすくするため、バス停の近くに駐輪場を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あれば便利。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際には実現は難しいのではないかと ・自転車からバスに乗り継ぐ人はあまりいないのではないかと
5) ドア to ドアの交通		<ul style="list-style-type: none"> ・利用したいときに利用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃が掛かる

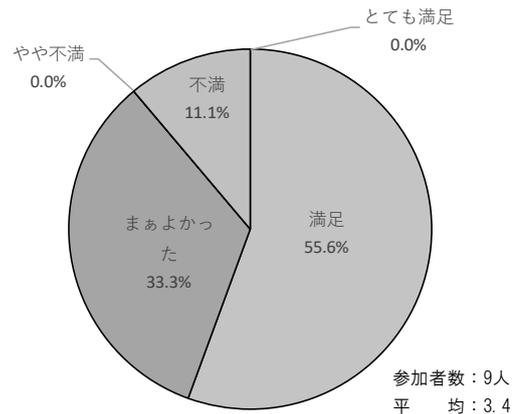
■ 第3回ワークショップの様子



■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満



平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・ いずれもお金がかかること。
- ・ タクシー等補助金の問題。
- ・ 自己負担が発生あり、年齢制限。
- ・ 切実な問題になって来ています。どうしたら一番いいかむずかしい。
- ・ 自分で運転して動いているため、具体性に欠けている。
- ・ 話を詰めていくとむずかしい。
- ・ チームワーク。

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・ 電動小型低速車の件。
- ・ 電動カート、盆堀の状況等、すみやかに情報提供いただきよかった。

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・ 今行っている定路線型の課題を教えてもらえるとありがたい。
- ・ だいぶ身近に感じられてきたように思う。
- ・ 限られた時間でまとまったと思います。
- ・ わかりやすい説明、十分に発言させてもらい良かった。

第4回ワークショップ結果概要

深沢区域

日 時：平成31年1月21日（月） 19時～21時

会 場：深沢会館

参加者：16人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第3回ワークショップのふりかえり
4. 地区へのアンケート調査結果の確認
5. この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認
6. グループワーク
 - (1) 交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？
 - (2) この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？
7. ふりかえり、閉会

■資料説明

第4回ワークショップの進め方を説明した後、第3回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

第3回ワークショップまでの議論、地区へのアンケート結果を踏まえ、事務局が設定した「この地区の交通サービスに関する地区の素案」に示した交通サービス候補について、参加者の方々に優先順位をつけていただいた。

その後、テーブルごとに整理し、優先順位の高いサービスを選んだ理由を挙げていただいた。

さらに、会場全体で優先順位のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

■グループワークの結果2：この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

「グループワーク1」で選定された、優先順位の高い交通サービスについて、この地区にそれらの交通サービスを入れる際に、どのようなことについて協力していただくことが考えられるかを、参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

【グループワーク1】交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

■優先順位の選定結果

	各グループの結果（得点化したもの）※			合計	優先順位 結果
	Aグループ	Bグループ	Cグループ		
1) 必要なときに利用できるドア to ドアの交通	10	9	7	26	2位
2) タクシー代の補助	15	11	16	42	1位
3) 必要なときに運行する定路線型の交通	3	5	8	16	3位
4) 住民主体の交通	2	2	4	8	-

※各グループの結果（得点化したもの）：各参加者にサービスの優先順位（上位3位まで）を選定していただき、それをグループごとに集計して、その結果を各グループの結果として整理した。グループごとの集計にあたっては、1位は3点、2位は2点、3位は1点の配点により得点化し、その合計得点を算出した。

■選んだ理由

	優先順位 結果	選んだ理由
1) 必要なときに利用できるドア to ドアの交通	2位	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時にドア to ドアで移動できるからよい。 ・融通が利く。
2) タクシー代の補助	1位	<ul style="list-style-type: none"> ・自由が利き外出しやすい。 ・各々目的地が違うので、一番良い。 ・ドア to ドアであり、定期型のような時間ロスが無い。 ・既にあるサービスなので、実現性が高い。 ・ほかのサービスに比べて、人材確保の心配がない。
3) 必要なときに運行する定路線型の交通	3位	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がいない時に、無駄に走らない。 ・市民として、るのバスを使う権利がある。 ・バスの時間に合わせて個人のスケジュールを立てやすい。 ・タクシー補助より低コスト。
4) 住民主体の交通	-	-

【グループワーク2】この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

1) 必要なときに利用できるドア to ドアの交通			<div data-bbox="707 360 1332 432" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(住民主体のとき) ドライバーで参加</div> <div data-bbox="707 468 1332 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">時間を合わせて利用</div>
2) タクシー代の補助	積極的に利用	敷地の提供	<div data-bbox="707 607 1332 678" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">出来るだけ使わない(経費減への協力)</div> <div data-bbox="707 689 1332 761" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">相乗りをする</div> <div data-bbox="707 772 1332 844" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">補助基準を決める検討に参加</div>
3) 必要なときに運行する定路線型の交通			<div data-bbox="707 898 1332 969" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(住民主体のとき) ドライバーで参加</div> <div data-bbox="707 1003 1332 1075" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">時間を合わせてできるだけ利用</div>

※関連提案

- ・入野地区を含めたサービスの検討
- ・自動運転特区への働きかけ

■第4回ワークショップの様子



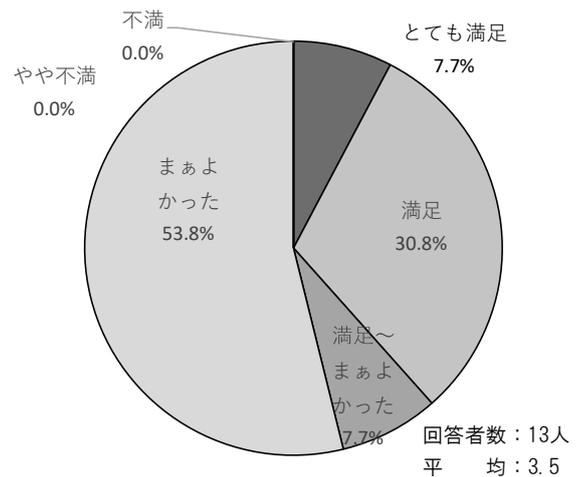
■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

（1人、3.5点と回答した方がいるのでそれもあわせて集計）



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・皆さん先の事を真剣に考えていた。
- ・感想・質問のうながし、事後フィードバックの確認→着地点の共有が弱かったですね。
- ・確実に運転できないときが近づいているが、まだ何も出来ていない事を改めて感じた。
- ・＜交通対策の取組を聞いて＞今の日本中のこのような在り方を考え、解決していく方法を進めていくには、この取り組みの条件を解決していくことがスタートになるのではないかとその現状の条件をそのままに対策をねるのはほとんど不可能な気がする。
- ・よく話し合う事がだいじと思いました。
- ・今現在は運転をしていますが何年後かに運転が出来なくなると本当にここで生きていけるのかとても心配です。
- ・一生けんめいやってくれてありがとうございました。
- ・まだ現実な話でないので実かんがわきません。5～6年したら今回の話し合いが良かったと思えるようにきたいしています。

○ワークショップ（全4回）を終えてのご意見や感想など、ご自由にお書きください。

- ・最初のワークショップ1、2回は参加人数が多かったけど後半は若干少なかった。
- ・トータルでこうした取り組みと、きめ細かい場づくりに敬意を表します。
- ・現状では現実味がない。
- ・やはり今後の技術進歩を踏まえて期待したい。
- ・現在まだ車を運転できるので実感がわかない。
- ・良いきっかけが出ると良いと思います。
- ・決定迄は大変だと思いました。
- ・他の人の考えが聞けて良かった。今は自分が運転できるので身にしみてはいない。こまるとは思うけれど。
- ・4回に渡りありがとうございました。

第4回ワークショップ結果概要

引田・代継・網代区域（網代）

日 時：平成31年1月19日（土） 19時～21時

会 場：網代会館

参加者：12人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第3回ワークショップのふりかえり
4. 地区へのアンケート調査結果の確認
5. この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認
6. グループワーク
 - (1) 交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？
 - (2) この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？
7. ふりかえり、閉会

■資料説明

第4回ワークショップの進め方を説明した後、第3回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

第3回ワークショップまでの議論、地区へのアンケート結果を踏まえ、事務局が設定した「この地区の交通サービスに関する地区の素案」に示した交通サービス候補について、参加者の方々に優先順位をつけていただいた。

その後、テーブルごとに整理し、優先順位の高いサービスを選んだ理由を挙げていただいた。

さらに、会場全体で優先順位のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

■グループワークの結果2：この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

「グループワーク1」で選定された、優先順位の高い交通サービスについて、この地区にそれらの交通サービスを入れる際に、どのようなことについて協力していただくことが考えられるかを、参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

【グループワーク1】交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

■優先順位の選定結果

	各グループの結果（得点化したもの）※		合計	優先順位 結果
	Aグループ	Bグループ		
1) タクシー代の補助	15	16	31	1位
2) 住民主体の交通 （ご近所同士の自動車の 相乗り）	7	10	17	3位
3) 定路線型の交通 （乗合タクシー）	9	9	18	2位
4) 自転車の共同利用	1	0	1	-
5) 大手スーパー等によ る送迎バスの運行	0	1	1	-
6) 企業等の送迎バスへ の混乗	0	0	0	-

※各グループの結果（得点化したもの）：各参加者にサービスの優先順位（上位3位まで）を選定していただき、それをグループごとに集計して、その結果を各グループの結果として整理した。グループごとの集計にあたっては、1位は3点、2位は2点、3位は1点の配点により得点化し、その合計得点を算出した。

■選んだ理由

	優先順位 結果	選んだ理由
1) タクシー代の補助	1位	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな時に利用できる。 ・ドア to ドアで利用できる。 ・プロの運転なので安全面で有利。 ※利用者を限定する仕組みづくり（財源）が必要。
2) 住民主体の交通 （ご近所同士の自動車の 相乗り）	3位	<ul style="list-style-type: none"> ・定年後の人の活躍機会。 ・互いに顔見知りなので安心。 ・ドア to ドアで利用できる。 ※運転手への謝礼などの仕組みづくりが必要。 ※事故の際の補償・責任が課題。 ※顔見知りなので問題が起きるとコミュニケーションに障害。
3) 定路線型の交通 （乗合タクシー）	2位	<ul style="list-style-type: none"> ・バスに近いシステム（時間が決まっている）。 ・ほかのものよりも低コスト。 ・バス停の配置の工夫で、ドア to ドアに近づく。 ・行政主体なので持続性が確保される。 ※本数が少ないのが課題。

【グループワーク2】この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

1) タクシー代の補助

極力利用しない（利用が増えると行政負担増）

不要な利用を控える（本当に必要な人が使えるように）

2) 住民主体の交通
（ご近所同士の自
動車の相乗り）

積極的に利用

バス停用地の提供

車体広告を取って支援

3) 定路線型の交通
（乗合タクシー）

運転手として参加

スケジュールの調整役

なるべく利用する

LINE グループでの情報交換

■ 第4回ワークショップの様子

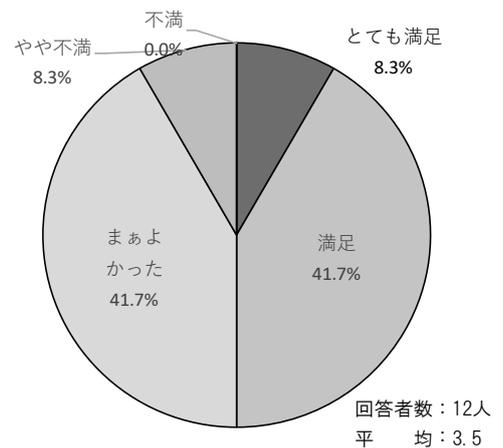


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・市の財政を考えるとタクシーの補助はさける様にする事。
- ・のバスなどの利用の時、市役所の方で道路の広さなどまた危険な道なので考えてほしいです。
- ・この地域においての問題点が具体的に見えてきました。
- ・今後実現出来る様に考えてください。
- ・地域のみなさんの考え方、思いを知る事ができました。
- ・このワークショップ、皆様お忙しい中、集まって下さった。また期待してバスが通る事を夢見ておりますので、是非希望を叶えてほしいと思います。
- ・初回では自分（地域）にとって必要なものとして意見を出していたが、それを運用することができるのか実現可能なのか、考えが深くなりました。
- ・各意見発表の場として非常に良かった。
- ・いろいろなことを考えると現実はきびしいと思う。
- ・市の方の説明で今後の方向が理解できた。

○ワークショップ（全4回）を終えてのご意見や感想など、ご自由にお書きください。

- ・皆んなの考え方が色々出て勉強になった。
- ・将来の事として考えていましたが、色々な話ですぐになるようになるので出来るかどうかかわからないのでやった事は必ずできるようにして下さい！
- ・ワークショップで出た意見を出来るだけ早めに具体化していただきたい。
- ・運転手、予算、警察、国の許可等考えると実施はかなり難しいだろうと思った。
- ・今回のワークショップを経費を掛けない様なかたちでもう少し広い地区でしらべたら。
- ・焦点がぼやけていた。
- ・ワークショップのやり方そのものを知らないとなかなか思う結果が出ない様です。何回か経験すれば、もっと意見が出る様になると思います。
- ・とにかく現実になる事を祈っております。
- ・問題点も含め、実現してほしいです。
- ・参加人数として第1回～4回として不参加が多くなったので何かの手段が必要である。今後の公共交通を行政として積極的に検討して頂きたい。
- ・今後の交通についてまとまってきたと思います。交通手段を考える事ができ様々な意見がきけてよかった。

第4回ワークショップ結果概要

引田・代継・網代区域（引田・澁上・代継）

日 時：平成31年1月14日（月・祝） 14時～16時

会 場：千代里会館

参加者：9人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第3回ワークショップのふりかえり
4. 地区へのアンケート調査結果の確認
5. この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認
6. グループワーク
 - （1）交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？
 - （2）この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？
7. ふりかえり、閉会

■資料説明

第4回ワークショップの進め方を説明した後、第3回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

第3回ワークショップまでの議論、地区へのアンケート結果を踏まえ、事務局が設定した「この地区の交通サービスに関する地区の素案」に示した交通サービス候補について、参加者の方々に優先順位をつけていただいた。

その後、テーブルごとに整理し、優先順位の高いサービスを選んだ理由を挙げていただいた。

さらに、会場全体で優先順位のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

■グループワークの結果2：この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

「グループワーク1」で選定された、優先順位の高い交通サービスについて、この地区にそれらの交通サービスを入れる際に、どのようなことについて協力していただくことが考えられるかを、参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

【グループワーク1】交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

■優先順位の選定結果

	各グループの結果（得点化したもの）※		合計	優先順位 結果
	Aグループ	Bグループ		
1) 地区と駅を結ぶシャトル便	5	12	17	2位
2) 地区と駅、病院、スーパー（イオンなど）などを巡る車両	9	12	21	1位
3) 段丘の定点間を結ぶ車両	1	0	1	-
4) 地区と駅とをU字型に結ぶ路線を運行する車両	5	3	8	3位
5) タクシー代の補助	4	3	7	4位

※各グループの結果（得点化したもの）：各参加者にサービスの優先順位（上位3位まで）を選定していただき、それをグループごとに集計して、その結果を各グループの結果として整理した。グループごとの集計にあたっては、1位は3点、2位は2点、3位は1点の配点により得点化し、その合計得点を算出した。

■選んだ理由

	優先順位 結果	選んだ理由
1) 地区と駅を結ぶシャトル便	2位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族送迎の代わりに。 ・ 通勤（10分間隔必要） ・ 南北方向の移動
2) 地区と駅、病院、スーパー（イオンなど）などを巡る車両	1位	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが行くところに定期的に行くので使いやすい ・ 高齢者は、駅よりもスーパーなどが重要。 ・ 地区と拠点の連絡に。
3) 段丘の定点間を結ぶ車両	-	-
4) 地区と駅とをU字型に結ぶ路線を運行する車両	3位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物等を含めて駅まで行ける。 （地区内を小さく回って欲しい）
5) タクシー代の補助	4位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規導入よりは実現しやすい。 ・ オールマイティ（ニーズに対応できる）

【グループワーク2】この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

1) 地区と駅を結ぶシャトル便								
2) 地区と駅、病院、スーパー（イオンなど）などを巡る車両	積極的に利用	路線検討に協力	敷地の提供	車両の提供	相乗りに対応	利用者のスケジュール調整	PR	
4) 地区と駅とをU字型に結ぶ路線を運行する車両								
5) タクシー代の補助								

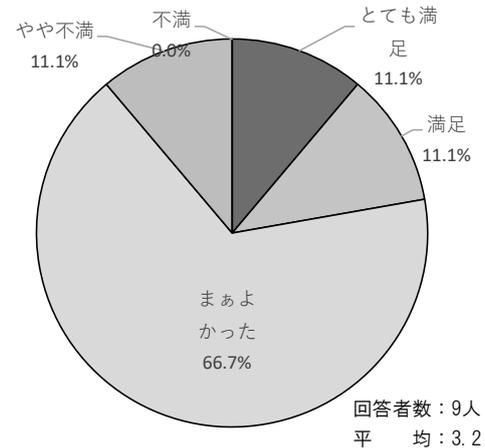
■ 第4回ワークショップの様子



■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満



平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・公共と個人の間で地域がどこまで協力できるかの重要性を再認識した（総て、公による又は自力との間で）。
- ・後半のワークショップ、自分で何が出来るかではなく、ブレインストーミングのように、もっと自由に意見（アイデア）を出させた方がよかった。
- ・公共交通のバスの利用は少ないと感じた。
- ・駅、ショッピングに考えが集中している意見があり、利便性の要求が多く、確かに良かった。
- ・漠然とした内容ばかりで、具体的な運用方法が詳しく欲しかった。
- ・ドア to ドアとなるタクシー利用については... 補助が大変ではないかと思っていて...” ぐらしの足”としては... 不適當と思いついていましたが、意見の中で、大型（中型？）車両を購入する事の方が出費になるのではというお話がでて、” そうなんだ？！”と意外でした。発見。しかし、市民の足としては、やはり中型車両を数台購入して利用頻度を増やしていくことが大切と、私は思う。

○ワークショップ（全4回）を終えてのご意見や感想など、ご自由にお書きください。

- ・この様な取り組みにはじめて参加しました。市とか地域とかを考えるととても良い機会となりました。たぶんこれまでも市としてこの様な取り組みを実施していたのだらうと思いますが、とても考えさせられ勉強になりました。ありがとうございました。
- ・予算が十分あるとしたら、という仮定のもとに、理想的には何が出来るかなどの自由な意見と、予算に限られた中、また、いろいろな制約を想定した中でのアイデアを出すようなワークショップはどうだろうか？
- ・個人が何が出来るか聞かれ、ふと考えが浮かばなく苦勞した。
- ・あきる野市も高齢者が多くなりますので、ぜひ公共交通（バス）は進めていただきたいと思います。
- ・町づくりから考えていかないと発展していかないと思う。大型スーパーや企業など、大学、高校などを入れると人の流れが増えるし、そうなるとう当然バスの運行量も増えます。
- ・初めて体験し、勉強になりました。
- ・ワークショップ参加申し込みしても2回/4回しか参加できませんでしたが、自分の住むまちの事を考える良い機会になりました。自分もこれから高齢に向かっていきますし。それにしても参加者が少なく、関心が低いことが残念でもありました。こうして... 市民の声を集める大切な機会なので、もっと多くの方が参加するべきと思います。少ない人数ではありましたが、せっかく話し合われたことが実現につながると良いと思います。ただ時間とり、話し合って終わりになっては欲しくない！と、切に思います！

第4回ワークショップ結果概要

草花折立下区域

日 時：平成31年1月13日（日） 10時～12時

会 場：折立会館

参加者：21人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第3回ワークショップのふりかえり
4. 地区へのアンケート調査結果の確認
5. この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認
6. グループワーク
 - (1) 交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？
 - (2) この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？
7. ふりかえり、閉会

■資料説明

第4回ワークショップの進め方を説明した後、第3回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

第3回ワークショップまでの議論、地区へのアンケート結果を踏まえ、事務局が設定した「この地区の交通サービスに関する地区の素案」に示した交通サービス候補について、参加者の方々に優先順位をつけていただいた。

その後、テーブルごとに整理し、優先順位の高いサービスを選んだ理由を挙げていただいた。

さらに、会場全体で優先順位のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

■グループワークの結果2：この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

「グループワーク1」で選定された、優先順位の高い交通サービスについて、この地区にそれらの交通サービスを入れる際に、どのようなことについて協力していただくことが考えられるかを、参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

【グループワーク1】交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

■優先順位の選定結果

	各グループの結果（得点化したもの）※				合計	優先順位 結果
	A グループ	B グループ	C グループ	D グループ		
1) るのバス	9	11	11	11	42	1位
2) 草花団地まで通る小型 車両	9	5	11	12	37	2位
3) タクシー代の補助	4	7	3	1	15	3位
4) タクシーの相乗り （目的地が同じ人で同乗）	0	0	2	0	2	-
5) 自家用車の相乗り （目的地が同じ人で同乗）	0	0	1	0	1	-
6) 西東京バスの路線延伸	3	2	0	0	5	-
7) 花之岡バス停から出る バス	3	2	0	3	8	-
8) 住民主体の交通手段	0	0	1	1	2	-
9) 共用の自転車	0	0	0	0	0	-
10) 企業が提供する、スー パー等への送迎バス	1	1	0	1	3	-

※各グループの結果（得点化したもの）：各参加者にサービスの優先順位（上位3位まで）を選定していただき、それをグループごとに集計して、その結果を各グループの結果として整理した。グループごとの集計にあたっては、1位は3点、2位は2点、1位は1点の配点により得点化し、その合計得点を算出した。

■選んだ理由

	優先順位 結果	選んだ理由
1) るのバス	1位	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の平等感（ほかの地区にも入っているのだ）。 ・都道もバスが走るといことで整備した経緯があるのだ。 ・行き先が分かりやすい。 ・既存のるのバスのルートを変えればよいのだ、新たに入れるよりは時間がかからない、対応しやすいのではないか。 ・すぐ近くまで来ているのだ、ルートを変えて来てくれればありがたい。 ・現実的。 ・市全体のるのバスの台数増、土日運行と含めて、この地区への導入を実現して欲しい。 ・気軽に乗れる。 ・運賃が安いので使いやすい。 ・ダイヤが決まっているのだ、予定を立てやすい。 ・草花団地まで宅急便の車両が入っているのだ、るのバスも行けるのではないか。
2) 草花団地まで通る小型車両	2位	<ul style="list-style-type: none"> ・1) るのバスと同じ。 ・デイスービスの車両が入っているのだできるのだ。 ・草花団地まで来てくれるのがうれしい。 ・るのバスが入れない以上、何らかの対応が必要。 ・草花団地に小型車両が乗り入れることで、るのバスの補完にもなる。 ・道幅が狭いのだ、小型車にした方が効率がよい。経費も削減できるのではないか。 ・現実的。 ・坂の上り下りが大変なのだ。
3) タクシー代の補助	3位	<ul style="list-style-type: none"> ・予算が確保できれば、現実的なのではないか。 ・乗り換えなどが大変なのだ、目的地まで直接行ってくれるタクシーを補助してくれるのはうれしい。 ・高齢者への配慮を考えると、るのバス等だけではニーズを満たせないのだ。

【グループワーク2】この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

1) 車のバス	積極的に利用	ニーズ調査への協力	敷地の提供	安全活動	宣伝	自家用車利用制限の呼びかけ
2) 草花団地まで通る小型車両					署名活動	
3) タクシー代の補助						利用頻度を減らして経費削減 委員会への出席

※そのほか

- ・市全体で使いやすいネットワーク

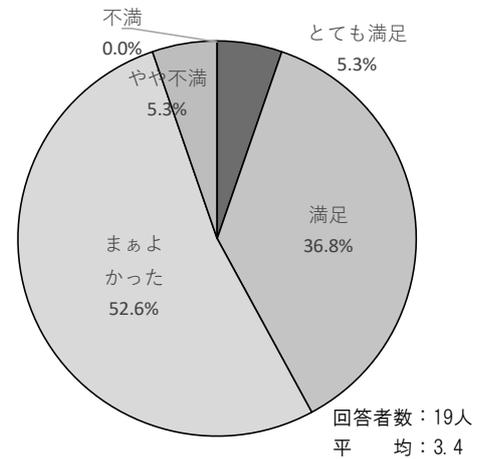
■ 第4回ワークショップの様子



■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満



平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・るのバスの小型化は大変なのではないでしょうか。小型化されると団地内に入れると思う。
- ・積極的に利用することに心掛けるように協力します。
- ・急坂下がこれほど考えて話し合うことは感謝です。
- ・まとめとして、出席して良かったと思いました。
- ・もう少し参加者の意見を積極的に聞き出して欲しい。
- ・自己中心
- ・市の方から市長になったつもりで意見をを出してくださいと言われたことは良かったと思います。
- ・非常に難しいテーマである事を認識しました。
- ・交通政策のむずかしいことは理解した。
- ・るのバス導入を住民がいかに希望しているか、の再確認ができました。
- ・住民主体になって取り入れていかないと先が続かないと思った。町内会も同じです。声をかけあって、困っていることに協力しあいながら進めなければならない。
- ・素晴らしいワークショップでした。いろいろ考えさせられる時でした。先が短いのでなるべく早く実現してほしいです。ありがとうございました。
- ・自分自身どんな協力ができるのか、なかなか浮かばないのがくやしい。
- ・いろいろな対応策へのアイデアがあること。

○ワークショップ（全4回）を終えてのご意見や感想など、ご自由にお書きください。

- ・話し合いは大変だと思いました。
- ・①～③回返は同じ様な意見の交換であった様に思うが、4回に関しては良かったと思う。
- ・市役所の方々がお休みの時間を交通機関と・・・これからも進めていただきたい。
- ・他の市の状況（例：羽村市の”はむらん”）の運行も参考に検討して欲しい。
- ・良くがまん強く指導してくれました！
- ・このワークショップの成果を期待したい。
- ・時間が足りないのでは。この問題に対してはもう少し議論の時間をとる必要があるのではないかと思います。
- ・市の意のあるところは理解した。予算の問題、関係機関への接触など大変な面も多いが市民（納税者）の福祉面の向上で優秀な市の行政都市になることを希望します。
- ・会長が以前述べられたように、貴重な時間と経費をかけているので、是非のバスの導入を切に希望します。
- ・交通対策ベスト3以外のバス停の移動はお金もかからず当面の利便性に寄与します。4番目ですが、頭に入れておいて下さい。
- ・利用意欲の確認、意識の高さの具合などを重要視することなんだと分かりました。意見を出すこと、利用すること、継続すること、トータルに考えなければいけない。これからの高齢化に対応することに必要だと思います。
- ・最後の吉岡さんのお話を聞いて、むずかしい問題が沢山あるのだと考えさせられました。大変なことですがよろしく願います。
- ・市としてどんな方策を出されるのか注視したい。
- ・①最大のポイントは今日のWSの内容により「実現」させる意思、施策があるかどうかです。「意見を聞きおく」ことで終わらせないで！！②事前に国、警察、事業者との関係を示したうえで議論すべきだった。（何となく「言い訳」を言われた気がします）③「優先」の決め方の基準が不明だ。人数？有力議員の有無？それとも？

第4回ワークショップ結果概要

東秋川橋西側区域

日 時：平成31年1月26日（土） 19時～21時

会 場：地蔵堂

参加者：9人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第3回ワークショップのふりかえり
4. 地区へのアンケート調査結果の確認
5. この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認
6. グループワーク
 - (1) 交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？
 - (2) この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？
7. ふりかえり、閉会

■資料説明

第4回ワークショップの進め方を説明した後、第3回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

第3回ワークショップまでの議論、地区へのアンケート結果を踏まえ、事務局が設定した「この地区の交通サービスに関する地区の素案」に示した交通サービス候補について、参加者の方々に優先順位をつけていただいた。

その後、テーブルごとに整理し、優先順位の高いサービスを選んだ理由を挙げていただいた。

さらに、会場全体で優先順位のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

■グループワークの結果2：この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

「グループワーク1」で選定された、優先順位の高い交通サービスについて、この地区にそれらの交通サービスを入れる際に、どのようなことについて協力していただくことが考えられるかを、参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、グループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

【グループワーク1】交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？

■優先順位の選定結果

	各グループの結果（得点化したもの）※		合計	優先順位 結果
	Aグループ	Bグループ		
1) 地域の会館の役割を果たしている地蔵堂（小川555-1）を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	7	8	15	2位
2) タクシー代の補助	6	3	9	3位
3) 定路線型の交通（小型バス）	9	7	16	1位
4) 定路線型の交通（電動カート）	0	0	0	-
5) バス停への駐輪場の設置	1	0	1	-
6) ドア to ドアの交通	1	0	1	-

※各グループの結果（得点化したもの）：各参加者にサービスの優先順位（上位3位まで）を選定していただき、それをグループごとに集計して、その結果を各グループの結果として整理した。グループごとの集計にあたっては、1位は3点、2位は2点、3位は1点の配点により得点化し、その合計得点を算出した。

■選んだ理由

	優先順位 結果	選んだ理由
1) 地域の会館の役割を果たしている地蔵堂（小川555-1）を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	2位	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア志願者もいるので、自発的に（市に頼り切りでなく）実施可。 ・ 地域の問題全般に対応。 ・ 地位の魅力を活用できる。
2) タクシー代の補助	3位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定路線との使い分け。 ・ 帰路の手段として使いたい。 <p>※定路線並みの料金が良いが。 ※補助の額次第ではある。</p>
3) 定路線型の交通（小型バス）	1位	<ul style="list-style-type: none"> ・ カートだと速度が遅く、エアコンもない。 ・ 行政がやるものとして、定路線型のは住民が安心して使える。 ・ 軽のバンでもよい。 ・ バス・カート⇒アンケート結果を見てこちらにした。

【グループワーク2】この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

<p>1) 地域の会館の役割を果たしている地藏堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス</p>		<p>ボランティア（運転、電話番など）</p> <p>車両の提供</p> <p>仕組みづくり</p> <p>行政との窓口</p>
<p>2) タクシー代の補助</p>	<p>積極的に利用</p>	
<p>3) 定路線型の交通（小型バス）</p>		<p>駐車場の提供</p> <p>車両の提供</p> <p>行政との窓口</p> <p>運行ルートの検討に参加</p>

■ 第4回ワークショップの様子

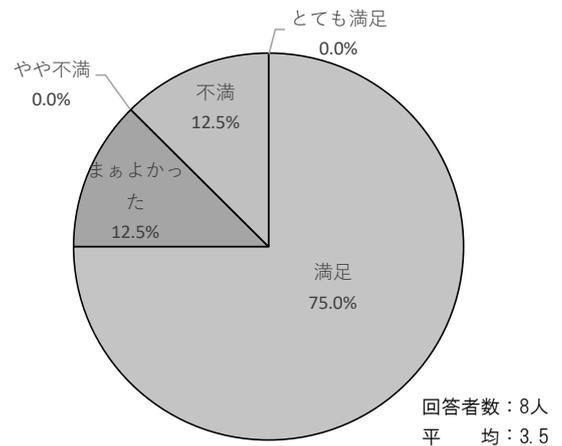


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・自分たちの考えていたことと、アンケート調査の結果が少し違っていたということ。
- ・公共交通の動き方。
- ・まだ自分で運転するのでそのあとのことは実際にはわからないのでわからないことが多い。
- ・事業を実施するには問題が多い。
- ・ワークショップ等の新聞記事。
- ・運行するにつき問題の多さに気づいた。

○ワークショップ（全4回）を終えてのご意見や感想など、ご自由にお書きください。

- ・意見を言えて、大変良かったと思います。
- ・どの位利用できるか、利用するには、どんなものがよいか、むずかしい。この前のアンケートについて、返事のしにくい文言がありました。
- ・いろいろ勉強させて頂きました。
- ・使いやすい制度ができる事を期待します。
- ・こういう機会を多くして多数の人が参加していくほうが良い。
- ・特になし。